

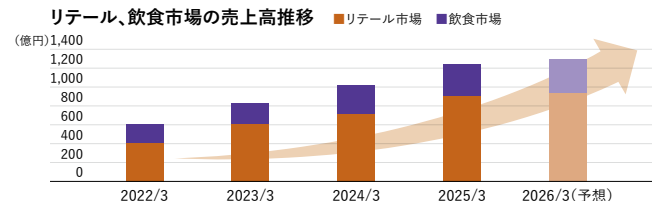
## 海外事業



## 特集：リテール・飲食市場で事業が成長する理由

## 世界の店舗運営を支える、グローバルオペレーションの力

当社グループの海外事業は、世界各国の課題に応える技術力と、現地に根ざした事業展開により、着実な成長を遂げています。特に、複数の国にまたがって店舗展開するリテラーや飲食チェーンにおいては、統一システムでの管理・運用が求められており、グローバルオペレーションを支援する当社グループのソリューションは、世界中の企業から高く評価され、導入が拡大しています。



## ▶ 環境認識

## リテラーや飲食店が直面する課題と、統一管理へのニーズ

リテラーや飲食店における

## 経営課題

グローバル本社による統一管理  
多国籍企業では、国や地域ごとに異なる店舗運営やシステム環境が存在することで、本社によるガバナンス管理や経営判断が困難になるケースが増えています。そのため、各国店舗で同一のオペレーションを実現し、データを一元管理したいというニーズが高まっています。

リテラーや飲食店における

## 店舗課題

## 1) 人手不足

小売、飲食業界では、インフレによる人件費の高騰などにより人材確保の難しさが深刻化しており、少人数でも店舗運営が可能な体制づくりが求められています。

## 2) セルフ化の加速

パンデミック以降、セルフサービスへのニーズが急速に高まり、現金を含む決済業務の自動化・効率化が求められています。

## ▶ 課題解決につながる競争力の源泉

## 世界をつなぐ統一オペレーション

世界各国で店舗を運営するリテラーや飲食店に、通貨処理を中心とする店舗の自動化を目的とした各国統一オペレーションを実現するソリューションを提供しています。

## 競争力の源泉

## 1) グローバル企業の統一オペレーションニーズに応える技術力

- 通貨処理機は60ヶ国以上の通貨に対応
- オンラインソフトウェア更新による新紙幣対応等も可能

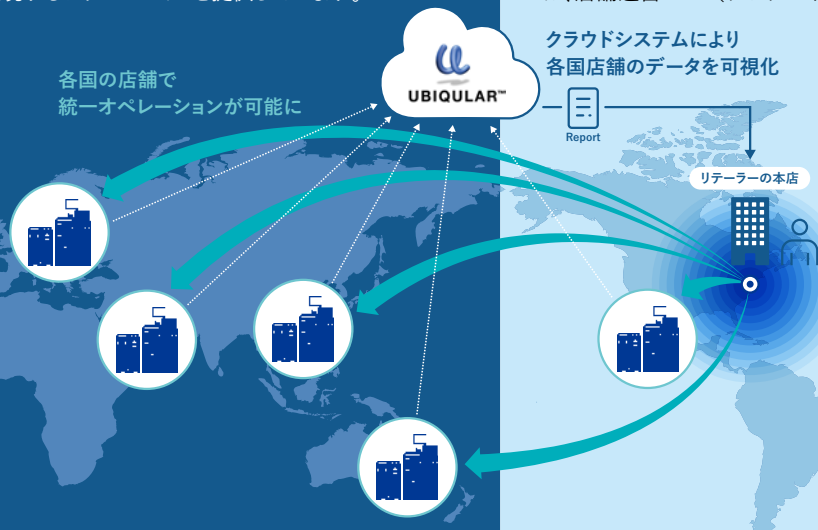
## 2) 顧客に寄り添う安心のサポート体制

- 販売・メンテナンス拠点を100ヶ国以上に展開
- 現地のニーズに即した製品開発とソリューション提供
- 金融・小売・飲食など多様な業種への導入実績
- グローバル展開するリテラーや飲食店の販売力

## 導入のメリット

- 各国の店舗で同一システムを運営することで、管理の合理化と効率化を実現
- 運営コストを低減
- 万が一のトラブルの際も各国において安心してサポートを受けられる

各国の店舗で統一オペレーションが可能に



## ▶ 今後の取り組み

## 店舗DXを支える統合型ソリューションの提供へ

グローリーのソリューションは、単なるハードウェアの提供にとどまりません。今後は、店舗運営のDX(デジタルトランスフォーメーション)を支える統合的なソリューションモデルとして、店舗のDXを含む、より広範な価値の提供を一層加速させる方針です。こうした取り組みにより、当社グループは、グローバル市場における持続的な成長を実現していきます。

## 店舗DXを支えるソリューション

- **遠隔監視による安定運用**  
機器の稼働状況や現金在高をリアルタイムで把握し、トラブルの予兆を検知
- **データ活用による店舗最適化**  
店舗ごとの現金の流れや利用状況を分析し、現金回収・補充のタイミングを最適化。業務効率とコスト削減を実現
- **クラウドシステムによりデータを可視化**  
複数店舗の情報をクラウド上で統合し、本社による統一的な運営管理を支援。グローバル企業の統制力強化に貢献
- **AI・予測技術の活用による進化**  
AIによる需要予測や異常検知など、より高度な店舗支援機能の提供を目指す

## ソリューションの導入プロセスと信頼に基づく導入拡大

〔導入プロセス〕 グローリーのソリューションは、店舗運営に深く関わるため、慎重な検証を経て段階的に導入されます。このプロセスがお客様の当社グループへの信頼につながっています。そのため、一度導入されたお客様には長くソリューションをご利用いただいています。

〔信頼に基づく導入拡大〕 米国等に本店を置く多国籍企業で、各国での統一オペレーションが可能なソリューションを導入される事例が増加していますが、以前よりレジつり銭機などの機器をご利用いただいている日本企業がグローバル展開するにあたり、新たにソリューションの導入を検討される事例も見られるようになりました。

- (1) 試行導入： まずは少数の店舗で試験的に導入し、実際の運用における効果や課題を検証  
(2) 検証期間： 半年～1年程度をかけて、本社及び店舗運営に適合するかを確認  
(3) 本格導入決定： 検証結果を踏まえ、導入の可否を判断  
(4) 段階的導入： 採用決定後、各国の店舗へ順次導入

